

## 総合評価落札方式（簡易型）の試行について

奈良市では、総合評価落札方式（簡易型）の新しい落札方式を試行します。

### 1. 目的

近年、公共工事を取りまく状況が変化しており、「価格」と「品質」の両面で優れた工事であると同時に、環境面・省資源への配慮、公平で公正な入札・契約を求めるニーズが高まっています。

この様な中、平成17年4月に公共工事の品質確保の促進に関する法律が施行され、経済性に配慮しつつ「価格」以外の多様な要素も考慮した総合的に優れた内容の契約がなされることにより、公共工事の品質確保を図る取り組みとして位置づけられたのが総合評価落札方式であります。国及び県ではすでに実施されており、市町村においても、同方式の活用が期待されていることから、来年度の本格導入に向け本年度において試行するものであります。

### 2. 施行予定事業

工事名	鴻ノ池テニスコート改修工事
場所	奈良市法蓮佐保山四丁目9番1号
施工面積	1,950㎡
工事名	西部生涯スポーツセンターテニスコート改修工事
場所	奈良市丸山一丁目905番地
施工面積	1,535㎡

### 3. 「総合評価方式の導入の意義」

次のような、総合評価落札方式のメリットがあります。

価格と品質が総合的に優れた調達により、優良な社会資本（公共施設）の調達ができる。

必要な技術的能力を有する建設業者の参加により、ダンピングの防止、不良・不適格業者の排除ができます。

技術的能力を審査することにより、建設業者の技術力向上に対する意欲を高め、建設業者の育成に貢献します。

価格と品質の2つの基準で業者の選定をすることから、談合防止に一定の効果が期待できます。

### 4. 今後のスケジュール

12月中旬	入札指名通知及び入札説明書の交付
1月初旬	技術評価の審査
1月中旬	入札（価格）
1月下旬	落札者決定